

大 綱 主 要 項 目		人材の育成・強化				
具 体 的 な 項 目		人材の育成・強化				
実 施 計 画 項 目		D X人材認定制度				
担 当 課		デジタル戦略課	関係課	全課		
No.Ⅳ-1-(1)		令和 3	4	5	6	7
実施年度	実施計画		○	○	○	○
	効果又は 数値目標		D X人材認定 者数 【令和4年度新規】	D X人材認定 者数 延べ 20 名	D X人材認定 者数 延べ 40 名	D X人材認定 者数 延べ 63 名
進捗 状況	実績			S	S	A
	効果又は 数値実績			21 名認定	47 名認定	59 名認定
現状と課題						
D Xは、行政サービス全体の利便性向上、プロセス・業務フローの見直し、職員の働き方改革など、自治体行政全般に関わる変革であり、評価・改善を繰り返しながら継続的に推進していく必要がある。 全職員の情報リテラシーを高めるとともに、業務のデジタル化・業務見直しの中心となるリーダーを育成し、デジタル技術等の活用を全庁に広げ、将来にわたって安定的にD Xの取組を推進できる人材を育成することが課題である。						
課題解決に向けた方策						
自ら変革しようとする職員に対し、教育・活動の場を提供するとともに、その活動結果を評価することは、職員の意欲を高め、より高度なスキル習得に挑戦する動機づけとなる。 そこで、意欲のある職員の更なるレベルアップを図るため、D X人材認定制度を制定し、運用する。						
具体的な取組内容						
【令和7年度】 20代から50代までの計17名が4グループに分かれ、業務改革案を検討する研修プログラムを受講した。報告会でのプレゼンテーションを修了した職員をD X人材として認定した。また、昨年度D X人材として認定した職員が自主的にプロジェクトを立ち上げ、提案を行った。なお、過去2年間の反省を踏まえ、管理職や受講経験のある職員、前任者などをグループ内に配置し、研修が円滑に進行するよう努めた。 研修修了者14名（複数年度受講の3名を除く）を、新規にD X人材として認定した。						
総括（推進期間全体における成果等）						
D X人材認定者数は59名となり、目標値63名に対する達成率は93.7%で、概ね目標を達成した。認定された職員を中心に、研修の中で提案したプロジェクトの実現に向けた検討が継続されており、15業務中9業務が実施中又は継続検討中となっている。これは、「自分が提案すれば、業務改革を通じて地域を良い方向に変えることができる」という意識の表れであり、D Xの実現に向けた第一歩となる意識変革として、一定の効果があったと評価できる。						
今後の取組方針等						
D Xは中長期的な取組であることから、その原動力となる職員育成についても、長期的な視点で継続的に取り組む必要がある。徐々に効果は表れつつあるものの、市役所全体の変革には依然として隔たりがあり、引き続きD X人材の育成を進める必要がある。また、今後はマインド面の育成に加え、プロジェクト実行、A Iなどのデジタルスキルの活用、及びデータ利活用といった高度なスキルを有する人材の育成にも取り組む。						